

令和3年度 札幌市第二かしわ学園事業計画（案）

第1 基本方針

札幌市第二かしわ学園の運営は12年目に入ります。前年度は、新型コロナウイルス感染症の感染・予防の観点から活動の中止・変更が多く計画通りの運営を行うことが出来ませんでした。

また、感染・予防に努めてまいりましたが、年度末には新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生し、2週間の休園を余儀なくされ、利用者や家族の皆さんに多大なるご迷惑をおかけしました。しかし、今までの学園運営の取り組みや信頼関係により、皆さんと共に乗り越えることができました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染・予防を重点に掲げ、この状況の中でも利用者や家族の思いを受け止め、一人ひとりを大切にす支援と更なる支援体制の充実を目指し、適正な管理運営と、安心して学園に通っていただけるよう努めてまいります。また、学園運営が10年以上過ぎ、利用者や家族構成の年代が二極化してきており、個々のニーズが多様化してきております。そのため、利用者及び家族の個々のニーズに応じた支援を行います。

札幌市では、札幌市障がい者保健福祉計画の計画目標の一つとして「地域生活を支えるためのサービス提供基盤の一層の充実」を掲げ、「個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備」を基本施策の一つとしています。

札幌市第二かしわ学園は、この課題を解決するため、「作業・日常生活・文化レクリエーション活動を行うことにより、日々の生活の充実とともに、社会自立を促すこと」を設置目的（基本方針）としています。

施設の設置目的（基本方針）の成果を上げることが目標に、利用者の日常生活能力、社会生活能力、働く意欲と技術、自立能力の育成と向上に努め、利用者が充実した地域生活が送れるよう個別支援計画に基づき、きめ細やかに一人ひとりの障がい等の状況に応じた作業・日常生活・文化・レクリエーション活動の支援を提供します。そして、一人を大切にす福祉を目指した利用者支援に努めます。

さらに、利用者や家族、地域住民の声を常に受けとめ、札幌市の公共施設として札幌市民の期待に応えられるように、共生社会を目指した透明性の高い管理運営を行います。

第2 重点事項

1 虐待防止に向けた取り組み

障がい者の支援は、職員一人ひとりに利用者の尊厳の保持と人権の擁護の姿勢がなければより良い支援につながりません。ましてや虐待は絶対にあってはならない行為です。

職員の勤務形態がそれぞれ異なるため、情報提供の機会を増やすことで虐待防止に努め、情報の共有化に努めます。

また、職員に研修や情報提供の機会を随時設け、虐待防止責任者（学園長）の指導の下、全ての職員が利用者の尊厳の保持と人権擁護の姿勢の意識を高く持ち、虐待ゼロに努めます。

(1) 全職員対象に、虐待防止のためのセルフチェックを行います。

- (2) 准職員を含めた常勤職員以上に、パート職員に対しても打ち合わせ等を勤務内に実施し、常勤職員同様に情報提供を行います。
- (3) 年度当初に障害者虐待防止法に関する基本的な理解や、人権尊重の意識の向上を図るため虐待防止研修を実施し、虐待防止に努めます。

2 支援体制の充実

障がいの状況は年々重度化してきており、平均障がい支援区分は5を越えています。障がいの状況が重度化している上に、年齢を重ねた利用者が少しずつ増えてきているため、一人ひとりの状況に対応できるよう支援体制の充実に努めます。

また、利用者の人権尊重と利用者本位のサービス提供に努めるとともに、利用者・家族、並びに札幌市との連携を図り、円滑な事業運営に努めます。

3 日中活動の充実

日常生活を営む上で必要な食事、歯磨き等の身辺処理、健康管理の提供に加え、生産的・創作的な作業活動や利用者のニーズが高いレク活動、体育活動等、また外出する機会を積極的に取り入れ、「生活の張り」や「生きがい」、「余暇活動」に重点を置いた日中活動の充実に努めます。

4 定員の維持

学園の運営開始当初から課題としていた利用定員50名はほぼ達成しております。3名の新規利用者が入所予定ですが、新型コロナウイルス感染症により登園率が下がっているため、今後も定員の維持と利用者の登園率の向上に努めます。

5 研修体制の充実

支援サービスや職員倫理の向上を目指し、内部研修を開催するとともに外部の研修会へ積極的に参加します。

○研修別実施計画

	研修の種類	令和2年度実施実績		令和3年度実施計画	
		回数	延人数	回数	延人数
派遣研修	専門研修	1	1	3	3
	資格取得研修	1	1	2	2
	階層別研修	0	0	1	1
	その他	1	1	1	2
内部研修	専門研修	6	144	6	180
	新任研修	8	8	1	4
	施設視察	0	0	1	2
	階層別研修	0	0	3	29
	その他	0	0	2	3

6 実施事業

生活介護事業 定員50名

第3 利用状況と職員配置

1 利用者の状況 (令和3年4月1日の見込み)

契約者数は57名の見込みです。

〈年齢の状況〉

年齢	18才～	20才～	30才～	40才～	50才～	60才～	合計	平均年齢
男性	3	20	8	9	2		42人	32.3才
女性	1	4	5	4	1		15人	33.9才
合計	4	24	13	13	3		57人	32.7才

〈障がい支援区分の状況〉

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均区分
男性		6	11	25	42人	5.45
女性	1	3	5	6	15人	5.07
合計	1	9	16	31	57人	5.35

2 職員配置

職名	正規職員	准職員	パート職員	合計
学園長	1			1
副学園長	1			1
主査	4			4
支援員	7	12	0.8	19.8
看護師			0.5	0.5
主事	1		0.5	1.5
運転手			1.5	1.5
合計	14	12	3.3	29.3

第4 運営方針

1 日中活動

作業活動は、コーンバーリング取り付け作業、木製玩具磨き作業、チラシの丁合作業、ウニ板選別作業の各下請け作業、アルミ缶つぶし作業、農耕、工芸品づくりを継続して行います。

また、班活動やレクリエーション活動等の園内活動や外出活動を充実し、社会的経験の機会を提供します。

さらに、健康管理、体力作りにも重点を置いた体育活動等を行います。

2 送迎サービス

送迎サービスは、ニーズの高いサービスとなっていることから、引き続き送迎車3台で6方面の送迎を行います。

3 給食提供サービス

管理栄養士のもと献立の工夫をするなど利用者の皆さんに喜んでいただける給食の提供に努めます。

なお、給食調理業務は、専門業者に委託します。

4 防災・事故防止

火災や地震を想定した定期的な避難訓練・消防訓練を実施し、防火・防災に対する利用者や職員の意識向上に努めます。また、災害時の備えについても準備していきます。

また、交通事故の未然防止や交通安全に対する意識の啓発を図ります。

5 適正な事務執行と省エネ対策の実施

施設運営の効率化と事務費、事業費の節約意識を啓発しながら適正な事務執行に努めます。

また、札幌市の条例に基づき省エネ対策に取り組み、節電、節水やゴミの減量などを進め、環境に配慮した施設管理を行います。

6 家族との連携について

利用者の多くが自宅から通所しており、家族との連携・連絡はより良い利用者支援の大切な要素です。家族と利用者支援の共通基盤にたち、日々の連絡帳や懇談会、毎月の学園通信などをとおして施設の状況などの情報発信をきめ細かく行い、より信頼関係が深いものになるよう努めます。

7 グループホームとの連携について

利用者の方でグループホームを利用している方がおり、施設の状況などの情報を共有しながらグループホームの支援員や関係機関との連携・連絡を図り、利用者が安心して通所ができる環境作りに努めます。

8 実習生の受け入れ

大学や専門学校で福祉を学ぶ学生や、教員を目指す学生を中心に、社会福祉援助技術現場実習、介護等体験実習、社会教育・福祉教育体験実習等を受け入れます。

実習生が、職員の援助で直接介護にあたることは、障がい者理解を促し、支援のあり方について学ぶ機会であるため、適切な助言に努め、福祉人材の育成を図ります。

また、養護学校等の在校生の現場実習についても、積極的に受け入れます。

9 ボランティアの受け入れ

施設に対する理解と地域との交流を促進するため、地域のボランティア団体、利用者家族、

学生等の各種ボランティアを積極的に受け入れます。

施設としても、近隣地域へのボランティア活動や自治会活動へ参加出来るよう計画します。

10 苦情解決

利用者や市民からの苦情や要望等に適切に対処するため、苦情解決責任者（学園長）及び苦情受付担当者（副学園長）を配置するとともに第三者委員を置き、迅速かつ適切に対応します。

11 感染症対策

利用者、職員の体調管理及び建物等の消毒、換気を行い、感染予防の取り組みに努めます。

...



...



札幌市第二かしわ学園 資金計画書(令和3年度)

単位：千円

	支払月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未収未払	計
収入	利用料金			11,775	10,094	12,336	11,775	11,775	11,775	11,215	11,215	11,215	10,654	22,430	136,259
	その他収入	30	85	367	322	375.5	364	375	358	342	330	344.5	339	585	4,217
	法人内借入(補填)金	8,000	11,000	2,000										-21000	0
	収入合計	8,030	11,085	14,142	10,416	12,712	12,139	12,150	12,133	11,557	11,545	11,560	10,993	2,015	140,476
支出	人件費	7,268	8,957	12,829	7,268	7,267	7,436	7,267	7,656	13,407	7,494	7,663	11,278		105,790
	事務費		660	675	709	649	676	706	1,191	895	912	902	846	1,011	9,830
	事業費		1,224	1,004	1,919	942	1,166	936	1,160	1,018	1,630	1,130	1,229	1,075	14,432
	その他の支出		33	26	33	31	33	31	30	28	30	29	26	32	362
	支出合計	7,268	10,874	14,534	9,928	8,889	9,311	8,940	10,037	15,348	10,065	9,724	13,379	2,118	130,414
収支差額	当月分	762	212	-392	488	3,823	2,828	3,210	2,096	-3,791	1,480	1,836	-2,388	-103	10,062
	累計	762	974	581	1,069	4,892	7,720	10,930	13,026	9,235	10,715	12,551	10,165	10,062	

札幌第二かしわ学園 予算実行計画書(令和3年度)

単位:千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
収入	自立支援費	11,775	10,094	12,336	11,775	11,775	11,775	11,215	11,215	11,215	10,654	10,094	12,336	136,259
	特定費用収入	293	237	293	279	293	279	265	251	265	265	237	293	3,250
	利用者等外給食費収入	55	44	55	52	55	52	49	47	49	49	44	55	606
	受取利息配当金					0.5						0.5		1
	生産活動事業収入	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
	退職給付引当戻金収入													
収入合計	12,153	10,405	12,714	12,136	12,154	12,136	11,559	11,543	11,559	10,998	10,406	12,714	140,476	
支出	人件費	7,268	8,957	12,829	7,268	7,267	7,436	7,267	7,656	13,407	7,494	7,663	11,278	105,790
	職員給料	3,112	3,110	3,110	3,112	3,112	3,112	3,112	3,112	3,112	3,119	3,119	3,119	37,361
	職員手当	483	483	483	483	482	482	482	702	702	702	702	702	6,888
	職員賞与			4,818						5,171			1,890	11,879
	賃金	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	3,985	32,222
	非常勤職員給	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	退職共済掛金	108	1,799	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	2,987
	法定福利費	988	988	1,733	988	988	1,157	988	1,157	1,737	988	1,157	1,464	14,333
	事務費	660.0	675.0	708.5	649.0	676.0	705.5	1,191.0	896.0	911.5	902.0	846.0	1,010.5	9,830
	福利厚生費	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	80.0	115.0	115.0	16.0	5.0	5.0	366
	職員被服費	0.5	14.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	20
	旅費交通費			10.0				10.0		10.0				30
	研修研究費							95.0	95.0		50.0		20.0	260
	事務消耗品	12.0	30.0	30.0										72
	印刷費	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	34.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	309
	修繕費			27.5		45.0	27.5		45.0	27.5				200
	通信運搬費	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	59.0	46.0	46.0	46.0	565
	会議費	4.0			18.0				4.0				4.0	30
	広報費	80.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	850
	業務委託費	457.5	457.5	457.5	457.5	457.5	457.5	698.5	457.5	567.5	667.5	667.5	567.5	6,371
	手数料	30.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	32.0	27.0	332
	保守料						37.0	130.0						205
	租税公課												50.0	50
	渉外費			10.0				10.0	10.0	10.0			10.0	50
	雑会費												120.0	120
	雑費													0
	事業費	1,223.5	1,004.1	1,918.9	941.8	1,166.2	936.1	1,159.6	1,018.1	1,629.6	1,129.9	1,229.0	1,075.1	14,432
	給食費	293	238	293	279	293	279	265	251	265	265	237	293	3,251
	保健衛生費	1	1	1	1	1	1	1	1	343	1	1	1	354
	被服費		10											10
	教養娯楽費	7.0	75.6	57.4	22.3	42.7	25.6	156.1	25.6	111.1	38.4	30.5	2.6	595
	日用品費	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	456
水道光熱費	360	160	270	180	370	170	260	250	430	350	500	300	3,600	
消耗品費	40	60	18				18	30		15		18	199	
保険料	63		820			1							884	
賃借料	293	293	293	293	293	293	293	294	294	294	294	294	3,521	
雑費	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	
車輦費	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	118.5	98.5	98.5	98.5	1,202	
雑費													0	
その他の支出	33	26	33	31	33	31	30	28	30	29	26	32	362	
利用者等外給食費	33	26	33	31	33	31	30	28	30	29	26	32	362	
支出合計	9,185	10,662	15,489	8,890	9,142	9,109	9,648	9,597	15,978	9,555	9,764	13,396	130,414	
収支差額	2,969	-257	-2,775	3,246	3,011	3,027	1,911	1,946	-4,419	1,443	642	-682	10,082	